

清流の辺

令和5年7月21日
丹波中学校 学校だより
校長 古屋 修宏

1学期を終えて

7月21日（金）、1学期の終業式が行われました。

一つの節目を迎え、私から1学期の生徒の活躍を振り返り、その頑張りを称えました。修学旅行・校外学習と、多くの取組を相互に協力し、やり遂げてきました。

また、夏休みには夏休みにしかできないことをたくさんしてほしいと伝えました。13歳から15歳といえますと、生涯のなかでも感受性の豊かな時期だと思います。安全に注意して、今年の夏は〇〇をしたと、自分自身で明確に言えるような夏にして欲しいと思います。ただ漫然と過ごすのではなく、青春の1ページとなるような夏になることを願っています。

この1学期、これまで小学校での勤務が長かった私にとって、毎日が新鮮な日々でした。中学校に勤務し、一つ、強く感じたことがあります。それは、「できないことができるようになった。わからないことがわかるようになった。」とき、児童も生徒も、同じようにとてもいい表情を見せてくれるということです。私たち教職員は、こうした表情の一つでも多く見れるよう、日々研鑽を積んでいくのだと思います。

保護者の皆さまには、1学期間、学校を支えていただきました。ありがとうございました。教職員と保護者は、車の両輪に例えられます。生徒のよりよい成長という共通の目的に向かって、相互に理解し合い、息を合わせ、協働しなければ機能しません。今後もよろしく願いいたします。

生徒にとって安全で楽しい夏休みになりますよう、御家庭での支援をお願いします。

ヴィ先生とのお別れ会（全校英語・離任式）

7月20日（木）、ヴィ先生とのお別れ会を行いました。会のなかでは、ヴィ先生が紹介してくれたビートルズの「ハローグッドバイ」を全員で歌ったり、英語版大型すごろくを楽しんだり、和やか時間となりました。

また、生徒からのメッセージや思い出の写真がつまった本とタンブラーをプレゼントしました。

ヴィ先生からは、生徒たちにメッセージと、シールやペンのプレゼントをいただきました。ヴィ先生からのメッセージのなかで、「丹波中の生徒たちはグレートだった」と生徒たちを高く評価して下さったことが印象的です。

ヴィ先生、長い間ありがとうございました。



終業式の様子



ヴィ先生とのお別れ会の様子